

農村青年の奪はれたる権利と踏みにじられた西女求を手公取るため又多くの農村青年を蓄積斗争と導くため、青年部の強化は絶対には必要である。特に帝主義戦争が益々拡大されること、吾々はその爲に全力を注がねばならぬ。

実行方法

青年組合員を自ちに青年部に編成すること。青年部の組織を全會の方針に従つて班青年から再組織すること。地区青年委員會を依ること。果敢青年部書記局を確立すること。この具体的方針については新執行委員會に一任。

小作米減免斗争の件 (本部提出草案)

寄生地主の土地所有と封建的の低い小作料の搾取などにより農業恐慌の深刻化による農産物価の下落と戦争による物価の高騰(ことに肥料農具の値上)税金の加重は、今や五〇〇〇農民大衆を餓死の状態にまで突き落した。

すべの農民は莫大の借金と北南、東北地方ではワラビ、フスマを食へては木猫も糞糞を餌とし、わらわら有布衣あり、又すべの地方では、自喰ひ喰ふ、米を飯米とヨコセの闘争が捲き起され、有布衣あり、わらわら有布衣あり、今や五〇〇〇農民大衆を餓死の状態にまで突き落した。

実行方法

各班支部ではその地方の情勢に従つて、二、三、五人を發行し、小作米減免の必要女性を大衆に宣傳セン動する。

と、そして組織未組織が一緒に小作人集會を持ち、小作米減免の運動を充分協試し、その地方の情勢に応じて要求額を決定せねばならぬ。そして此の集會では必ず斗争委員會を組織せねばならぬ。しかもその委員は大衆的に選出する事が必要だ。尚地主別利の斗争を行ふことは、同一地主の小作人を斗争に起し上らせるため必要である。

五日々は小作米の減免(二割でも三割でも)を全免の目標に進めると共に他の産米検査反対、用水路設備費の地主負担等の斗争さらに税金借金、又吾々はこの斗争を分散的のものに終らせず、地区的さらに全国的にまであげねばならぬ。

帝國主義戦争反對の件 (早良地区提出)

奉天、大連、政戦中の支那、益々切迫する日本帝國主義の滿蒙侵略戦争は、すでに数億円の戦費を消し、数千万の兵士(小作は主として五〇〇〇農民の子弟)を砲丸の工場に送り、下し開き、戦争は更に終止する。如何に益々拡大されてある。日本帝國主義は滿州を侵略し、滿州國と云ふ、インテグリティを作り、武裝移民を送り、軍事に工場、飛行場と造り、戦争の準備に狂奔してゐる。この日本帝國主義の戦争の目標は、ソビエト、中国、それ自身、日本、そして世界の資本主義の國が失業と飢餓と圧制に苦しむに反し、社會主義五年計画の成行的遂行による生産者、若くは一人も、農民はキカイを使用して百七時間労働とやらを培り、その賃銀は熱練労働者が百

抑取らねばならぬ